

礼文の森から

宗谷森林管理署

礼文森林事務所



業務紹介 エゾシカ捕獲



礼文島では多様な高山植物が生育していますが、草花を食べるエゾシカが居ないからこそ成り立っている側面があります。北海道本土ではエゾシカに苗木や木の皮、農作物を食べられる問題が続いています。宗谷森林管理署では本年度も1月及び2月に、くくりワナ（踏み抜くとワイヤーでシカを捕まえるワナ）によるエゾシカ捕獲事業を実施し、礼文森林官も応援業務に参加しました。



くくりワナ設置の様子
(稚内市)

エゾシカの捕獲方法は銃猟、囲いワナ、箱ワナ、くくりワナと様々です。



くくりワナで捕獲した
メスシカ (稚内市)

それぞれの方法に長所と短所があります（囲いワナは高額だけど安全、銃猟は安価だけど安全への配慮が必要など）。くくりワナはワナ1つ当たりの経費が8,000円程度と低く、人間に危害が及ぶリスクが少ないため市街地の近くでも使用できる利点があります。ワナ猟は、一日一回は見回りをする必要がありますが、遠隔カメラで代用することで労力軽減も期待できます。このように林野庁では、適切な方法を選択しつつ、森をエゾシカから守っています。

～転出のご挨拶～

この度、令和4年3月31日をもちまして転出することとなりました。

来島した当初は右も左もわかりませんでした。公私ともにたくさんの方々にご助けいただきました。美しい花々や魚介類を初めとした素晴らしい財産を持つ礼文島ですが、特に令和元年に厳島神社例大祭、礼文神社例大祭で島民の皆様と御神輿を担いだのが何よりの思い出です。次に来島した際は、島の方々と共に植えた苗木が大きくなっていることを楽しみにしつつ、礼文島のさらなる発展を祈念いたします。

(平成31年～令和3年度在任 松野寛子)